［発行者］社会福祉法人 伊勢亀鈴会　2022年10月1日発行

きれい

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会　ウェブ検索

福祉新聞 WELFARE NEWS 복지신문
VOL 142

絵本を作る時、子どもたちの笑顔がいつも傍にあります

絵本作家　服部 美法 さん

安乗埼灯台

三重県志摩市阿児町安乗にある、芝生の先に輝く白亜の可愛い、全国的にも珍しい四角い灯台です。
映画のロケ地にもなった全国に 16 しかない「のぼれる灯台」の一つです。

目次

■巻頭インタビュー ―― 1
絵本を作る時、子どもたちの笑顔がいつも傍にあります
絵本作家 **服部 美法**さん

■なかま ―― 7
新しいチカラ、ぐんぐん育っています!
八野就労支援センター印刷係

■道のり ―― 8
株式会社**マスヤ施設外就労スタート!**
南勢就労支援センター

■ハートフルリレー ―― 9
ガラス越しに映る人物は ウルトラマンが大好きな青年だった
第2南勢就労支援センター

■春夏秋冬 ―― 10
行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ―― 18
家族葬セミナー
無料法律相談会の開催
野球応援団

■職員の休日 ―― 20
家庭との時間
八野就労支援センター **青木俊樹**

■きれいかいの動き ―― 表3
新職員・人事異動他

表紙写真

三重県三重郡菰野町　御在所ロープウェイ

ゴンドラから眺める四季折々の風景、そびえる奇岩・珍岩を見ることができます。秋の紅葉は、雄大な御在所岳の四季の中でも格別です。コロナ禍でまだまだ外出に注意が必要ですが、観光ができるといいですね。

絵本を作る時、子どもたちの笑顔がいつも傍にあります

絵本作家
服部 美法 さん

今回は、三重県出身で「おふくさん」や「もりのちいさな はいしゃさん」などを作成された絵本作家の服部美法さんにお話を伺いました。インタビュアーはきれいサポートステーションの長岡と石橋です。よろしくお願い致します。

Q1、絵本作家になろうと思ったのはいつごろですか

服部さん…三十才になってからです。

それまでは、四日市で小学校の教員をしていました。結婚を機に退職して、東京へ引っ越したのですが、それまでの子どもたちに囲まれた賑やかで忙しい毎日から一変し、東京では夫が帰宅するまで、一日の大半を一人で過ごす生活になりました。次第に寂しさが募っていきました。

そんな時、ふらっと立ち寄った近所の図書館で何気なく絵本を手に取り、表紙を開くと、涙が溢れてきました。ふるさとの三重の景色や子どものころの思い出が甦ってきて、なんともいえない温かい気持ちになりました。絵本の持つ力の凄さを実感した出来事でした。

そのことがきっかけになり、「絵本のことをもっと知りたい」と思うようになりました。

服部さん…その後間もなくして、夫の大阪転勤が決まり、大阪に引っ越した時、知り合った方から、「絵本のことを勉強したいなら、この辺（関西）なら四日市にある子どもの本専門店『メリーゴーランド』の『絵本塾』がいいよ」と、勧められました。そして、夫が名古屋転勤になったのを機にこの『絵本塾』に通い始めました。

入ってみると、そこは、絵本作家を養成する塾でした。最初は、まさか自分が絵本作家になろうなんて想像すら出来ませんでした。周りの塾生たちの熱意や努力がものすごくて。その人たちが、絵本作家になっていくのを間近で見ているうちに、「私も絵本作家になりたい」と強く思うようになりました。

Q2、画材は何を使われていますか

服部さん…私が描く絵は二種類あります。

一つは、伊勢型紙を自己流にアレンジした型染めのような技法です。十代のころ、大杉華水先生に伊勢型紙を学んだ経験を活かした技法です。

もう一つは筆で直接描くのですが、「おふくさん」という絵本を描くにあたって水墨画を習いに行き、描けるようになった技法です。いずれも絵の具は、アクリルガッシュを使用しています。

Q3、絵本の物語の構成はどのように思いつくのでしょうか

服部さん…「これを絵本にしたらどうなるかなあ?」といつも考えながら生活しています。

五感すべてでネタを探している感じです。

でも、その他に無意識なことも働いているかも?と思う時があります。

例えば、「おふくさん」という絵本のイベントに来てくださった年配の方に「御宅の家訓がこの絵本のテーマですか?」と言われたことがあります。私の父は、かつて中学校の先生でしたが、その方は何十年も前の父の教え子でした。そして、父がみんなの卒業アルバムに「笑う門には福来たる」という言葉を書いてくれたのよ…と懐かしそうにお話してくれました。

父は、私が絵本作家になる何年も前に亡くなっていますし、そのようなこととは関係なく「おふくさん」を作ったように思っていましたが、そう言われて改めて、父が「和顔愛語」という言葉を大事にしていたことを思い出しました。無意識ながらも、父の教えが私の作品に表れているのかも知れません。

「とびだせ！三重の絵本作家たち展」
三重県総合文化センター「三重県文化会館」にて

Q4、どれくらいの期間で一つの作品は完成しますか

服部さん…それぞれの絵本によって違います。私の場合、文章については、お話を思いついてから、何度も練り直すので何年もかかる場合が多いです。

絵についても最初のころは、1冊の絵本に半年以上かかっていました。最近は大体3ヶ月くらいで1冊の絵を仕上げることが多いです。

Q5、絵本作家をしていて、楽しい時、辛い時はどんな時ですか

服部さん…まず、辛いことは特に無いですね。

この仕事が本当に好きなんだなと、自分でもつくづくそう思います。

楽しいときは、自分が成長できたとき。前よりもいい絵が描けたときや、それまで分からなかったことに気付けたとき。そして、読者の方の嬉しい反応が聞けたときです。

Q6、絵本作家をしていて、これまで一番印象に残ったことはなんですか

服部さん…山画廊で「もりのちいさなはいしゃさん」の出版記念原画展をしていた時のことです。ある日お母さんと4~5歳くらいの女の子が絵本を買って行かれました。次の日、そのお母さんが画廊に駆け込んでみえたのですが、絵本の内容に、すっかり入り込んで「この後、登場人物のワニくんと歯医者さんは、お別れしたままなんですか?絵本の続きが気になって…」と、目は涙で潤んでみえました。

文章作家の上平川さんのお話がとってもいいのですが、そのお話に合わせて私が描いたワニくんや歯医者さんが、この方の中では、すっかり生きていて、こんなに人の心を動かして・・・と、それはそれは、嬉しい出来事でした。

Q7、絵本を描く際に気を付けていることはありますか

服部さん…絵本の流れですね。

絵本は一枚完結というものではないので一枚、一枚の絵に注力するのはもちろんなのですが、一ページ目から最後のページまで、絵本の流れにおかしいところが無いように、何度も何度もめくって絵本全体の流れを確認しています。

子どもたちって本当に細かいところまで見てくれるので、登場人物が持っている物や服装、時間の流れで移り変わっていく背景の植物の様子など手を抜くことが出来ません。

Q8、絵本を通じて伝えたいことはありますか?

服部さん…以前は、一方的に自分の世界をぎっちり詰め込んで自己主張がかなり強い作品を作っていたように思います。でも、今は読者の方が入り込むことのできる「隙間」があるものがいいなと思うようになりました。

一方的に「伝えたい」ということではなく、読む人のその時その時の心境だったり年齢だったり、お父さんに読んでもらうのと自分で読むのと、同じ絵本でも感じ方が違うと思うのです。

作品に入り込む「隙間」があって、読む人の想像や経験が絵本の中で生きる・・・そんな作品が作れたらいいなあと今は思っています。

Q9、服部さんの代表作「おふくさん」の制作エピソードをお聞かせいただけますか

服部さん：編集者から、「普段、個展に出している絵を一度見せてほしい」と言われ、「百福図」という、笑っているお福さんを百人描いた縁起物の絵を見てもらいました。その時、「これ、絵本になるんじゃない？」と、言われたことが、「おふくさん」シリーズが誕生するきっかけでした。

服部さん：最初、この「百福図」は「もりのちいさなはいしゃさん」という絵本を自費出版してくれた画廊のオーナーに向けて描いた絵でした。その時、オーナーは闘病中だったので、少しでも笑って免疫力を上げて欲しい、そんな一心でニコニコの笑顔を百人分、描きました。

その絵を描いた気持ちのまま「笑う門には福来たる」がテーマの絵本になりました。

絵本を作る際には、おふくさんを百人も描くと話が分かりにくくなるので人数を絞りました。おふくさんの名前を「むつきさん」や「きさらぎさん」など、月の名前にしたので、最初は十二人。あと、鬼も赤・青・黄と三人いるところから考え始めました。

そして、編集者とお話を練って行く中で、おふくさんは十人、鬼は一人になっていきました。これは、シンプルな方が分かりやすいということと、さきほどお話しさせてもらった「隙間」ということに通じるかも知れません。読者が、想像する力が絵本を補って面白くしてくれると言うか・・・。

例えば「あとの二人はどこへ行ったんだろうな？」「あ！もしかしたら自分のところに来てくれているのかもしれないな」って(笑)

トークショー

Q10、絵本作家になる前に教員をされていたと伺っておりますが、教員経験が絵本を描くうえでプラスになったことはありますか

服部さん：始めにお話したように、四日市で8年間、小学校の教員をしていました。新任の頃はまだ指導力がなく、授業中に子どもたちが騒いだりすることも多く悩んだこともありました。でも、そんな時、絵本に随分、助けられました。

絵本を読み聞かせする時は、子どもたちが目をキラキラさせて、それはそれはいい顔をしてこちらを向くのです。今もその時の子どもたちの笑顔がずっと忘れられなくて。

あの笑顔に会いたくて私は絵本を作っているのかも知れません。

今、絵本を作る時、その時の子どもたちのいい笑顔がいつも傍にあります。

妥協は絶対にしたくないという気持ちになりますね。

Q11、服部さんが一番好きな絵本はなんですか？

服部さん：「もりのてがみ」（片山玲子作・片山健　絵／福音館書店）、「うさぎのはなたば」（松居スーザン・絵　松成真理子／ひさかたチャイルド）、「バスにのって」（荒井良二／偕成社）など・・・たくさんあって、とても一冊に絞り切れないですね。

でも、子どもたちの笑顔に会える絵本だったら、「うどんのうーやん」（岡田よしたか作／ブロンズ新社）でしょうかね。

Q12、同じ絵本作家で尊敬されている方はいらっしゃいますか

服部さん：こちらもお一人には・・・。でも、いつも深呼吸する時に思い浮かべるのは、大野八生(おおのやよい)さん。大野さんは、絵本のお仕事の他にもＮＨＫの「趣味の園芸」や教科書の表紙画なども手掛けておられます。

また、造園家としても活躍されていて、私が夫の転勤で千葉に住んでいた時に庭仕事のお

手伝いで知り合いになりました。いつも自然体で人にも植物、動物、虫にも優しくて、絵にもそれが自然に表れていて、あんな風になれたら(描けたら)いいなといつも思います。

Q13、絵本を作っていて、服部さんの好きな言葉などありましたら教えてください。

服部さん：井上ひさしさんの「むずかしいことを　やさしく　やさしいことを　ふかく　ふかいことを　おもしろく」です。いつもこの言葉を机の前に貼って、意識するようにしています。

Q14、他の絵本作家さんたちとの交流はありますか

服部さん：私は、絵本製作で、絵だけを担当させてもらうことがあります。その時、文章作家さんとは、何度も意見交換を重ねる場合があり、それからずっとお付き合いが続いているというケースもあります。

　また、特に絵本塾出身の作家さんたちとは、交流がありますね。「絵本塾」に在籍していた期間が違っていても、二〇一一年と今年に開催された「とびだせ！三重の絵本作家たち展」でご一緒させてもらい、交流の輪が広がっています。

Q15、今後はどのような絵本を描かれたいですか

服部さん：誰かが「いいな」「ホッとするな」と、時々思い出したように手に取ってもらえる絵本・・・。一度読んで終わりではなく、何度も戻って来て貰えるような、そんな作品を作れたらいいなと思います。

　いい絵本は、何度読んでも、その人の成長に合わせて違った印象でそこに居てくれる気がします。

服部美法さんの絵本

服部美法 「おふくさんの１２かげつ」／大日本図書

Q16、新刊のご予定はありますか

服部さん…おかげさまで九月の始めに新刊が出ます。タイトルは「おふくさんの12か月」（大日本図書）です。「おふくさん」シリーズの第４作になります。見開きの、伊勢型紙にも注目してほしいです。

コロナ禍で振りまわされる毎日ですが、服部さんの絵本で、たくさんの子どもたちから素敵な笑顔が溢れますよう、願っています。これからも増々のご活躍を楽しみにしております。

本日はありがとうございました。

〈番外編〉

きれい君のパッケージが服部さんデザインに新しく生まれ変わりました！

～その時の想いを服部さんにお聞きしました～

服部さん…ウエスを折る作業を見学させていただきました。

コロナ終息を祈るように、一枚一枚心を込めて折ってみえる姿が印象的でした。「どんなキャラクターがいいでしょう？」と尋ねたところ、ある利用者さんが「猿がいい！」と仰って。帰りの車の中で、「ウエスで汚れを取り去る…。そうか！鳥と猿にしよう！」とアイデアが思いつきました。パッケージ全体を花かごデザインにしたのは、きれいサポートステーションでお葬式の際にお出しする供物の花飾りがきれいなのを思い出したからです。

利用者の方々が、心を込めて作業してみえることが、パッケージから少しでも伝わったら嬉しいです。

不織布ウエス箱詰め作業

新パッケージを持って仲間と一緒に

新しいチカラ、ぐんぐん育っています!!

「印刷係はベテランの利用者さんが多い」

「専門性が高く、話しかけづらい」

数年前はこういう声も聞こえる時があった。

時代は令和に変わり、ベテランの利用者さんが年齢の問題もあり、生活介護支援に移行する中、新しい利用者さんが次々と印刷係に来てくれるようになった。

津嶋祐児さんは、最初、他のことが気になり、よそ見することが多かったが、今では職員のとなりで印刷機の紙をセットしたり、検品、梱包もこなすまで成長した。ベテランの利用者さんも一目置く存在である。

大湾水蓮さんは、今年から入り、まだまだ覚えることは多いが、一つのことに集中したら飽きることなく続けられる根気強さと、皆から可愛がられるムードメーカー的な存在である。

北川智子さんは、生活介護支援から就労継続支援に移行した利用者さんで、支援方法の違いにまだまだ慣れていない部分もあるが、一つのことに集中して根気強く作業できる真面目で誠実な利用者さんである。

田中 優さんは、南勢就労支援センターに通所していたが、鈴鹿市に引っ越し、八野就労支援センターの印刷係で作業をしていただいている。体力に自信があり、体の不自由な利用者さんに重たい資材を運んであげたりする、元気で活発な利用者さんである。

今回の取材では伝えきれないが、他にも新しい利用者さんが印刷係に来ていただいている。ベテランの利用者さんと新しい利用者さんがともに分かり合い、他部所の利用者さんとの交流の懸け橋にもなっている。

それぞれの若い個性を伸ばし、成長する姿を大切に見守りたいと思う。

津嶋さん　印刷機の紙のセットと検品作業

田中さん　折作業補助

大湾さん　折込作業

北川さん　広報すずかチラシ折込作業

株式会社マスヤ施設外就労スタート！

南勢就労支援センターでは、令和4年6月からおにぎりせんべいでお馴染みの「株式会社マスヤ」で施設外就労をスタートした。

利用者さん7名と職員1名で、ノベルティ等に使用される箱入りのおにぎりせんべいの箱詰め作業に携わらせていただいている。1日100ケースが目標の中、スタートしたばかりの頃は、1日の生産数は30ケースほど。100ケースという目標はかなり高いハードルに思われた。

慣れない場所での新しい作業は、利用者さんにとってストレスだったはず。それでも弱音を吐かずに作業に取り組み、日々成長していく利用者さん。

職員のアドバイスを自分なりに工夫し、より効率的な方法をあみ出した方もいれば、几帳面な性格を活かして印字前の箱をきれいにテーブルに並べ、高い作業効率を発揮する利用者さんもいる。職員に頼って、受け身な姿勢の利用者さんは1人もいない。

そうした利用者さんの活躍により、日々の生産数は右肩上がりに上がっていった。さらにはマスヤさんも使用する道具の改善や作業方法のアドバイスなど、生産数の向上に向けて一緒になって取り組んで下さった事で、今では1日に80ケース以上を生産出来るようになった。

1日の終わりには、生産数をみんなで共有し一喜一憂。

「最高記録や！！」「今日は頑張ったな」といった前向きな発言が飛び交う等、高いモチベーションで作業に取り組んでいる。

100ケース達成は、すぐそこまで来ている。

これからも利用者さんの潜在能力発揮と自己実現が達成出来るように、新しい事にどんどん挑戦していきたい。

賞味期限を印字中

作業場

100ケース目指して頑張っています

グルーガンで糊付

おにぎりせんべいの箱詰め作業

ハートフルリレー
heartful relay

ガラス越しに映る人物は ウルトラマンが大好きな青年だった

職人の顔つき

丁寧に、丁寧に…

スクイジーやシャンプーマイクロファイバーなどを使用して行う作業がある。ガラス窓の清掃業務である。

まかせ太作業の一つなのだがこれがなかなか簡単な作業ではなく誰もがきれいにできるまでに一定の技術を要する。

この窓ガラスの清掃作業を第2南勢で一番きれいに仕上げることができるのが丈迫北斗さんだ。準備から段取り、道具の配置などを現場の状況に応じて作業ができている。

彼はもはや職人と呼んで申し分ないと思う。

そんなガラス清掃が得意な丈迫さんは実は第2南勢のシン・ウルトラマンなのかもしれない。

憧れのウルトラマンに変身!

八野生活介護センター

袈裟丸さんのライブ

7月21日（木）、八野通所・入所で袈裟丸さんのライブをリモートで行った。

コロナ禍なので、通所はデイルームで、入所が食堂に分かれるようにし、画面を繋いで見えるようにし、利用者さんには歌の歌詞がわかるように歌詞を書いた紙を、テーブルに貼ったり、渡したりして歌った。

歌が始まると、利用者さんは一緒に歌ったり、手拍子や楽器を鳴らしたりして、大いに盛り上がっている様子で1曲終わるごとに拍手をされた。ライブが終わってからは利用者さんからお礼を言い、ライブを楽しんだ。

歌を歌っています

リモート越しに手をふってる

楽器と声を合わせて

楽器で盛り上げて

手拍子で

芸術はバクハツだ

今年4月から新しい活動として、臨床美術士の河村裕子先生をお呼びし、「ろこアト」という今までにない作品を作る活動を始めた。6月16日㈭のアート教室で今回「海」をテーマにした作品を先生に教わりながら、絵を描いた。

作業中は、真剣な顔で取り組んでおり時々「ここはどうしたらいい？」と質問をされている方もいて、皆さん集中されている様子だった。魚はコピーして貼り付け、コルクボードは岩をイメージして作っていた。同じ画像をみて作っていたが一人ひとり違う作品が完成した。終わったら「楽しかった、先生ありがとうございます」とお礼を言い出来た絵を見て満足した様子だった。

活動後は、他の職員に「こんな絵が描けたよ」と出来た絵を見せていて、「次は何を描くんやろ。」と次回のアート教室を楽しみにしている様子だった。

集　中

出来たよ～

私が描きました

先生お願いします

放課後等デイサービスURAURA

放課後等デイサービスURAURA八野

水遊びウィーク

夏休みに入り、毎日朝から子どもたちが来所された。暑さも日に日に増し、URAURA八野では、8月8～13日に「水遊びウィーク」を開催した。中庭でテントを立てて、熱中症対策も万全に、シャボン玉や水風船釣り、水泡祭り等暑さも吹き飛ばす元気でいっぱい遊んだ。炎天下の中、スプリンクラーは大人気で、暑さも忘れ走り回っていた。シャボン玉液に食紅で色を付けて、紙に吹き、模様をつけるアート作品は、とても素敵な作品に仕上がった。

スプリンクラー楽しいね

水風船釣り

シャボン玉でアート

水鉄砲的あて

泡がいっぱい

シャボン玉きれいだね

放課後等デイサービスURAURA稲生

イタリアの味はいかが？

URAURA稲生で人気の活動といえば調理実習である。調理実習の日はすぐに予約が埋まってしまう。作るだけが目的だけではない。食を大切にすることは自分のカラダに目を向け、作ってくれる人に感謝をする「心育」を教えている。毎回食に興味をもてる取り組みに力を入れている。今は世界の料理がテーマ。今回はイタリアだ。イタリアといえば？「ピザ！」自分たちで考え作ったオリジナルピザに小さなシェフ達の歓声があがった。

おいしくできた

感染対策としてパーテーション設置

包丁は支えてもらいながら

盛り付けてます

八野就労支援センター

光るアート展

作品作りの様子

織姫と彦星が暗闇から浮かび上がった

利用者の皆さんの作品展

7月2日㈯、光るアート展が行われた。黒い紙に蛍光塗料を塗ったり、蛍光色の紙を星の形に切ったりして1時間かけて作品作りをした。完成後、部屋を真っ暗にしてブラックライトを照らすと、暗闇の中から織姫と彦星が浮かび上がり、利用者さんも驚かれていた。その後、暑い時期の中、涼しさを感じながら自分たちの作品を眺めていた。

最後に天の川の作品の前で短冊に願いを込めて、記念撮影を行った。

みんなと一緒に

歌って踊ってリフレッシュ！

みんなと一緒に踊りながら

マツケンサンバで大盛りあがり!

7月30日㈯、本来はBBQ大会が行われる予定だったが、コロナ禍のため、中止となった。楽しみにしていた利用者さんが落ち込まないよう、行事の中で人気の高いカラオケ大会とDVD鑑賞会を行うこととなった。カラオケ大会は、感染症対策をしっかり行った上で利用者さんが好きな曲を思いっ切り歌うことができ、日頃のストレスを発散することができたようだった。

待ち時間、涼しいお部屋で大好きなアニメを観て楽しまれた

ヨガ教室

7月16日㈯、にヨガ教室を開催した。今回で3回目となるが、1回目と2回目はヨガの先生が来られず動画を見ながらのヨガだった。しかし今回はヨガインストラクターの中野先生が直接教えてくれるということで、利用者さんも楽しみにして参加してくれた。グループを3つに分けて、各グループ40分ほどヨガをした。最初は座りながらの姿勢が多く、徐々に立ちながらのポーズなどにも挑戦した。終わったあとは全員汗をかいており、利用者さんに聞くと「気持ちのいい汗がかけた」と言っていた。

今年度は月に一度看護師からの健康のお話をするヘルスケアにも取り組んでおり、ヨガも次回は来年1月に行う予定である。このような取り組みが利用者さんの健康増進につながることを期待して今後も行っていきたい。

中野先生

腰を捻りましょう

背中を伸ばして!

息を吸って～

交通訓練

3ヶ月に一回教養娯楽支援の一環で交通訓練を利用者さんに行っている。今回は実際歩道にある道路標識を一緒に確認して、自分はどう気を付けたらいいのかなどについて話した。また三重県は令和元年度信号機のない横断歩道の車停止率が一番悪いという結果を踏まえ、三重県が独自に「まもってくれてありがとう運動」に取り組んでいる。実際に施設の目の前のサーキット道路で、止まってくれた車に対してお辞儀をして感謝を示す運動を利用者さんと一緒に行った。今後も定期的に交通訓練を行っていくことで、利用者さんの事故を未然に防いでいきたい。

止まってくれてありがとう

この道路標識は?

動画で勉強!

南勢就労支援センター

Aーストリートビューツアー

コロナ禍で行動制限のある生活を送る中、利用者さんの「旅行に行きたい!」という声に少しでも応えたい気持ちから、毎月Aーストリートビューツアーを行っている。

Aーストリートビューツアーは、Ｇｏｏｇｌｅストリートビューや Ｙｏｕ Ｔｕｂｅ等、インターネット上のサービスを活用して旅行気分を満喫していただく活動だ。

利用者さんに毎日万歩計をつけてもらい、1ヶ月間の歩数で行き先を決める。「今日はこれだけ歩いたよ!」と、1日の歩数をうれしそうに報告してくれる利用者さんもいる。

大阪旅行ではあべのハルカスの展望デッキやＵＳＪのアトラクションを映像で楽しんでいただき、沖縄旅行では360℃カメラの映像で海の中をバーチャル観光していただいたり、星の砂作り体験に楽しく参加いただいた。今後は日本を飛び出して世界旅行を計画していく予定だ。

AIツアーの記念写真

すごろくマップ

大阪名物のたこ焼き

星の砂ボトル作り中

USJツアー!

南勢夏祭り

8月16日㈫、今年も感染症対策を万全に南勢夏祭りを開催した。午前中は全員で夏祭りの準備!施設の飾りつけや屋台の準備をおこなった。実行委員の利用者さんの挨拶で夏祭りがスタート!スーパーボールすくいが得意な利用者さんはポイの紙がやぶれても、次々とスーパーボールをゲットしていた。型抜きは初挑戦の利用者さんも多く、綺麗に切り抜こうとみんな真剣な様子だった。

一番人気はやっぱりキッチンカー!今年のキッチンカーはコロッケとかき氷。暑い日だったので、かき氷はとっても好評だった。

お祭りの最後は抽選会。当選番号の発表にみんなドキドキしながら大盛り上がりだった。

今後も南勢就労支援センターでは楽しい季節のイベントを企画していく。

コロッケおいしい!

かき氷は好きな味を選びました

型抜き!集中してます

大きいスーパーボールを狙ってます

抽選会で豪華賞品ゲット!

夏の終わりに…

コロナが終息しない中、日々頑張っていただいている皆さんに少しでも夏を満喫してもらおうと納涼祭を行った。

まずは屋台をイメージした射的。得点の低い大きな的か、それとも得点の高い小さな的を狙うのか…皆さんそれぞれの性格が表れていた。

その後はお待ちかねのアイスタイム！

数十種類の31アイスクリームを選ぶ利用者さんの表情は幸せに満ち溢れていた。

口いっぱいに頬張り、満足な表情。

暑かった今年の夏を涼しく終えて、近づいてきた秋に向かってパワーを蓄えた1日だった。

よーく狙って

最高の笑顔で

おいしーー!

早く食べたいな

Space travel

8月某日。

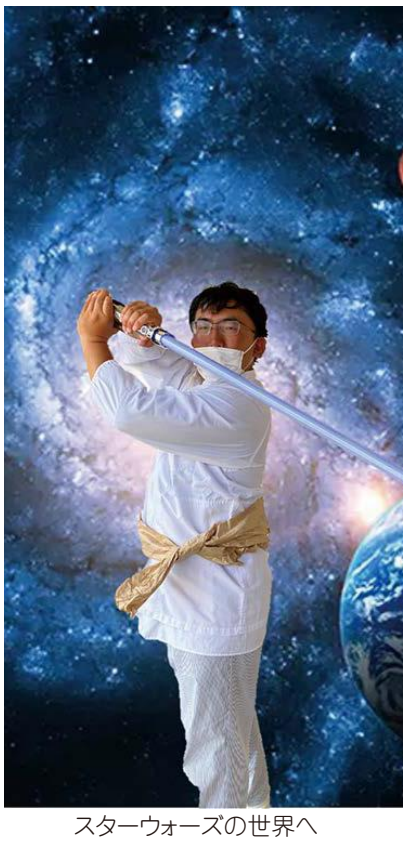
第2南勢では宇宙への旅が企画されていた。…といっても実際に宇宙に行けるはずもなく、VRゴーグルを使った宇宙旅行である。ゴーグルを装着し火星や月へ行ってみたり、宇宙遊泳をしてみたり。

気分はスターウォーズのルークスカイウォーカー！

体験を通して宇宙への憧れがより強くなった利用者さんもいた。今回は施設での体験だったが、近い将来実際に月へ向かい無重力を皆が楽しめればと心より願う。

目の前は広大な宇宙

何が見えているかな

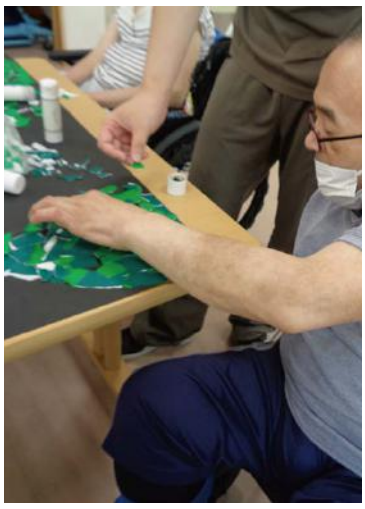

スターウォーズの世界へ

宮の里ミタスメモリアルホーム

9月の「〇〇」にむけて

8月24日㈫、通所が再開し久し振りにみんなの元気な顔が見られた。

暑い夏も過ぎ、いつの間にか朝夕は涼しくなっている。秋も近づきデイでは「お月見」をテーマに創作活動を行っている。大きい模造紙にちぎった折り紙を貼っていただく作業を職員と時々お話をしながら楽しそうにされていた。まだ完成はしていないがみんなで協力して満足のいく作品に仕上げたいと思う。


丁寧に丁寧に…

集中!!!

形が出来てきたかな?

みんなで相談中～

オンライン音楽療法

8月26日㈮、コロナ感染予防対策として、初めての試みであるオンライン音楽療法を行う。

利用者さんも最初は不安そうにしていたがすぐに慣れ、オンライン音楽療法で歌ったり、曲に合わせてベルを鳴らしたりと楽しまれていた。

今後も状況に応じオンライン音楽療法を取り入れていく予定。

リズム体操開始

見えますか～

リズムに合わせてベルを鳴らせるかな?

二見生活介護支援センター潮音

アロハフェスティバル

7月31日㈰、コロナ第7波の影響もあり、小規模な「アロハフェスティバル」を開催した。楽しみにしていたボランティアのフラダンスも中止となったが、ハワイアンミュージックを聴きながら南国感溢れる雰囲気でスタートした。

午前中は南国の装飾やサーフボードの飾りと一緒に記念撮影を行い、午後のビンゴゲームでは大盛り上がり！豪華賞品に笑顔がたくさん見られた。

その後のティータイムではフラダンスの動画を観ながら手作りのプリンアラモードを美味しく頂き、ゆったりとした時間を過ごせた。

集合～!!

次は何の数字？

景品ゲット～楽しみですね

何が入っとるやろ？

フラワーアレンジメント

潮音では、毎月の活動でフラワーアレンジメントがある。その月の趣向に合わせて、岡島顧問が季節の花と花器を選ぶ。利用者さんは、花の名前や生け方の説明に耳を傾けられ、生け始める。和やかな雰囲気の中、真剣にバランスを考えて生ける方、職員と相談しながら生ける方と様々だが、出来上がりはとても素敵だ。7月は夏祭りの趣向を取り入れ、ハイビスカス等の花も登場。

毎月玄関先に飾っているので、潮音に来所された時に是非観ていただきたい！

集合～

素敵にしあがりました!

7月の趣向!いかがですか?

どこに生けようかな～

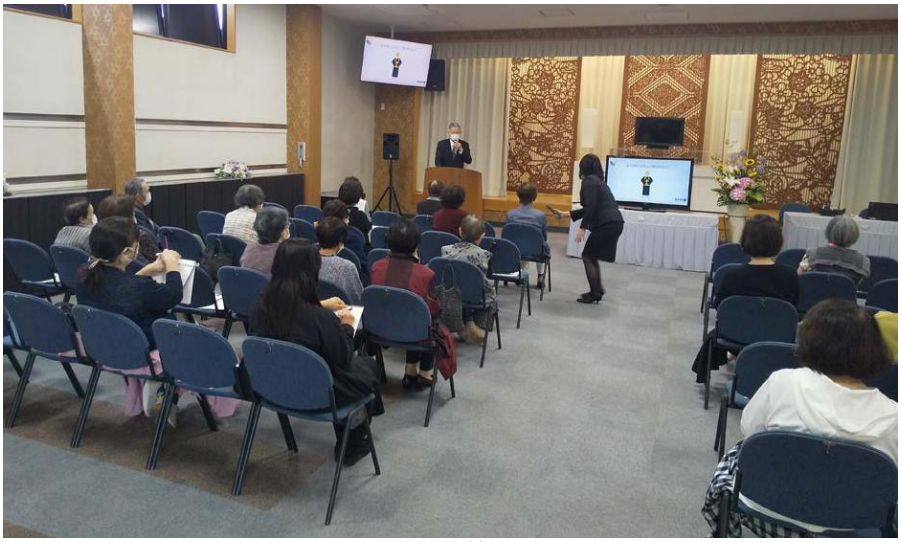
家族葬セミナー

5月～6月、白子・鈴鹿南・津・伊勢の各きれい福祉会館において「家族葬セミナー」を開催した。

「家族葬って何だろう?」といった基本的な内容から、もしもの時の為に知っておいていただきたい事や事前に準備しておいていただきたいこと等、約60分のセミナーを行なった。

当日は各会場に多くの方がご来場いただき、お寺様やお墓の相談等、「個別相談会」も行い、とても有意義なセミナーになった。

アンケートや質疑でお寄せいただいたご意見・ご感想は、今後の葬祭業務やセミナー運営に役立たせていただきたい。



質疑応答

鈴鹿南会館にて

多くのご来場
ありがとうございました

無料法律相談会の開催

7月15日(月)に無料法律相談会を福祉会館の津でおこなった。第1部はまかせ太君の事業の紹介をして、第2部で四日市の司法書士の石川先生から相続に関しての話をしていただいた。午後からは石川先生に個別に相談を聞いてもらう時間を設けた。

この相談会は相談内容に応じて司法書士や行政書士、税理士などの専門家の先生を呼んで無料で相談などができる会となっている。相談内容は相続に関することや遺品整理に関すること、解体・土地売買に関すること、空き家の管理に関することなどで、今後は毎月各福祉会館でおこなっていく予定だ。

まかせ太君事業の紹介

相続とは?

相談会の様子

野球応援団

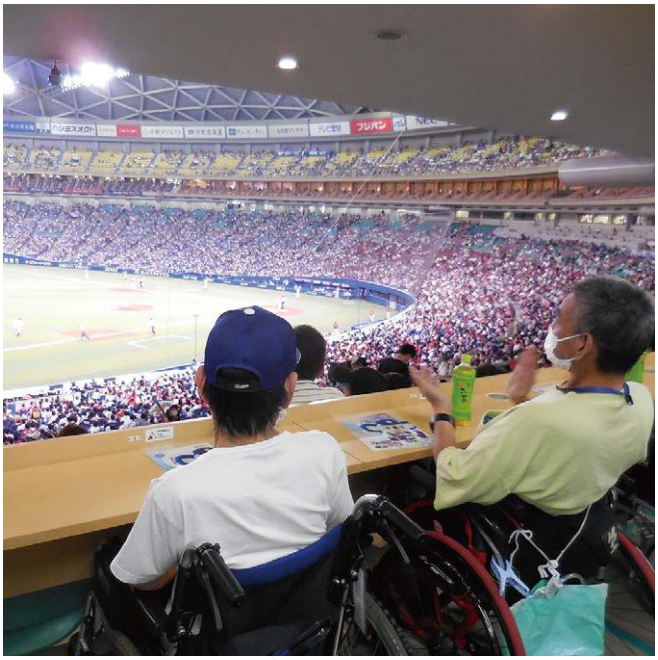
7月9日㈯、福祉葬祭三重による東海ラジオガッツナイター提供企画として、3年ぶりにバンテリンドーム招待ツアーが実施された。

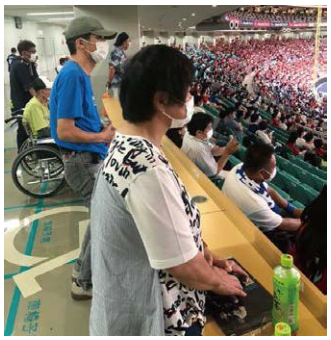
今回は中日ｖｓ広島。コロナ対策をしっかりしつつの弾丸ツアーを決行！

久しぶりの外出、歓声…プロのプレーやサポーターの応援を間近で感じることができた。そのプレーに一喜一憂され、試合の最後まで見ることができ、とても楽しいひと時だった。

広島の勝利で中日ファンの利用者さんは残念がってもいたが、とても良い気分転換になった。また、当日参加できなかった方も、インターネットを通じて意中の選手のTシャツや帽子などのグッズを購入、満面の笑みで試着した。

みなさんそれぞれに、今回のイベントを楽しみ尽くしていただけたと思う。


バンテリンドーム


ハラハラ･ドキドキ

遠くから観戦

完全に集中

手を振って応援

中日のグッズGET

ドアラが大画面に

やる気十分

久しぶりの外出

職員の休日 HOLIDAY

家庭との時間

八野就労支援センターの青木俊樹です。印刷の営業としてこの法人にお世話になって早いもので15年になります。

私には幼稚園に通う5歳の息子と3歳の娘がいて休日は家族と一緒に私の実家のある愛知県の知多半島に帰ることが多いです。春は筍を掘ったり、夏は葡萄、冬には苺を親戚や知り合いの農園で収穫させてもらったりしています。「自分で採って採れたてを食べる。」最高です！子どもたちにとってもとても良い体験になっています。

コロナ禍でなかなかいろいろな場所に出掛けるのを自粛していると思いますが、私が知多に帰ったときによく行く大好きな場所があります。

常滑市にある「やきもの散歩道」です。土管坂と呼ばれる土管が並んだ坂道があったりとやきものの町らしいユニークな町並みが広がっています。たくさんの常滑焼の陶器のお店や個性的なカフェや雑貨屋などもありのんびり散策をして、お気に入りの器などを見つけたりと楽しい時間を過ごしています。

自分の生まれ育った場所で家族と過ごす時間は癒やしであり、仕事への活力となっています。

八野就労支援センター 青木 俊樹

きれいかいの動き　新職員紹介

八野生活介護センター

紀平 和花

辻 知恵子

八野就労支援センター

日野 洋介

福祉の森の家おにぎり屋
山下千晶

きれいサポートステーション

山際 裕美

南勢就労支援センター

山田かおり

お弁当屋潮音
加藤 貴子

二見生活介護支援センター潮音

倉田 麻美

西村 君代

藤原 保和
（運転手）

川井 正治
（運転手）

宮の里ミタスメモリアルホーム

古田 三郎
（運転手）

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

142号で編集長を務めさせていただきました、きれいサポートステーションの長岡と申します。

経験不足なこともあり不安もありましたが、周りの皆さんに支えられ何とか142号を完成させることができました。次回編集長を担当させていただく機会がありましたら、今回よりもさらに良い号にしてきたいです。ご協力いただきました皆様、本当にありがとうございました。

ご寄付をいただきました。ありがとうございました。

寄附をいただいた方2022.6.1~2022.8.31

福祉葬祭三重

菩提寺 様
放流寺 様
地福寺 様
観音寺 様

宮の里ミタスメモリアルホーム

上村晴彦さんの家族様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいていますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター	担当:高田 TEL059-378-8881
宮の里ミタスメモリアルホーム	担当:加藤 TEL0596-58-5030
二見生活介護支援センター潮音	担当:岡島 TEL0596-72-8822

ちょっと寄り道!!

峯月堂（ほうげつどう）

ぶどう大福

栗きんとん

最　中

今回の寄り道では、鈴鹿市伊船町にある和菓子店「峯月堂」を紹介。

昭和32年にオープンした大きい看板が目印の和菓子店。地元の人にも愛されているお店。職人さんおすすめの和菓子は最中。3つの鈴の形をした最中で、各鈴に違うアンコが入っており、とても美味しい最中だ。平成10年に開催された第23回全国菓子大博覧会で大臣賞に選ばれたお菓子である。他にもどら焼きや徳峯かすてらなど数々の受賞を得た和菓子店だ。

一人の職人さんが趣味で始めたフェイスブックに、峯月堂のおすすめが投稿されており、10月の季節の商品では、ぶどう大福と栗きんとんがおすすめ。

おいしい和菓子があるのでぜひ訪れてみてください。

鈴鹿市伊船町1616-1　TEL059-371-0282

社会福祉法人
伊勢亀鈴会

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
八野生活介護センター

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA八野
〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1
TEL059-378-8881(代) FAX059-379-3223
e-mail hachino@kirei.or.jp

指定放課後等デイサービス事業所
URAURA稲生
〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6
TEL059-392-5130(代) FAX059-392-5131

指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所
八野就労支援センター
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
TEL059-378-6622(代) FAX059-378-5335
e-mail hachino2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉の森の家　体にいいおにぎり屋
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-380-6355 FAX059-367-7377

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい
〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30
TEL059-388-1508 FAX059-388-1508

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 空羅多ガーデン(くらたがーでん)
〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号
TEL059-388-1882 FAX059-388-1882

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ
(第1)〒519-0166 亀山市布気町1446-2
TEL0595-96-8182 FAX 0595-96-8182

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ
(第2)〒519-0166 亀山市布気町1446
TEL0595-96-8183 FAX 0595-96-8183

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい 御糸の杜(みいとのもり)
〒515-0354 多気郡明和町行部131
TEL0596-55-6800 FAX 0596-55-6800

指定共同生活援助事業所
グループホームきれい みや川
519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2
TEL0596-20-8530 FAX0596-20-8531

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所
きれいサポートステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-388-0864 FAX059-367-7911

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所
きれいライフステーション
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1
TEL059-340-7997 FAX059-367-7050

指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所
宮の里ミタスメモリアルホーム
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-5030 FAX0596-58-5033
e-mail miyanosato@kirei.or.jp

指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業
宮の里ライフステーション
〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18
TEL0596-58-8588 FAX0596-58-5033

指定生活介護事業所・指定短期入所
二見生活介護支援センター 潮音(しおね)
〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地
TEL0596-72-8822 FAX0596-72-8823

指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所
指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所
南勢就労支援センター
〒519-0427 度会郡玉城町宮古字鉄砲塚728番地の18
TEL0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742
e-mail nansei@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
お弁当屋　潮音(しおね)
〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310
(二見生活介護支援センター潮音内)
TEL0596-72-8808 FAX0596-72-8817
e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
第2南勢就労支援センター
〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3
TEL0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535
e-mail nansei2@kirei.or.jp

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 白子
〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12
TEL059-380-1711 FAX059-380-1712

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 鈴鹿南
〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1
TEL059-380-1717 FAX059-380-1720

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 津
〒514-0014 津市港町18-12
TEL059-213-1717 FAX059-213-1771

指定就労継続支援事業所
福祉葬祭三重　福祉会館 伊勢
〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1
TEL0596-26-3170 FAX0596-26-3025

社会的事業所
まかせ太君(鈴鹿)
〒513-0836 鈴鹿市国府町字高畔3917-272
TEL059-370-8118 FAX059-370-8119

社会的事業所
まかせ太君(伊勢)
〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741
TEL0596-63-5450 FAX0596-63-5451

印刷
指定就労継続支援B型事業所
八野就労支援センター
きれい印刷工場
〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1
☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp